

# 地場企業の経営動向調査

(平成24年度第1・四半期)

平成24年8月10日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,388社（構成比率92.5%）、大企業112社（構成比率7.5%）により構成されている。

回答した企業数は695社、回答率46.3%となっており、回答企業の内訳は、中小企業 650社（構成比率93.5%）、大企業45社（構成比率6.5%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成24年4～6月期の実績、及び平成24年7～9月期の予想について、平成24年6末時点で調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成24年度 第1・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規 模 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	1,500	695	46.3%	
中 小 企 業	1,388	650	46.8%	93.5%
大 企 業	112	45	40.2%	6.5%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	1,500	695	46.3%	
建 設 業	233	129	55.4%	18.6%
土木建設業	82	47	57.3%	6.8%
建設付帯工事業	73	34	46.6%	4.9%
電気・管工事業	78	48	61.5%	6.9%
製 造 業	183	92	50.3%	13.2%
食料品製造業	36	23	63.9%	3.3%
繊維製品製造業	12	7	58.3%	1.0%
建材・木・紙製品製造業	15	6	40.0%	0.9%
印刷・製本業	29	15	51.7%	2.2%
窯業・土石製品製造業	10	3	30.0%	0.4%
金属製品製造業	18	10	55.6%	1.4%
一般機械器具製造業	23	10	43.5%	1.4%
電気機械器具製造業	15	7	46.7%	1.0%
その他製造業	25	11	44.0%	1.6%
卸 売 業	224	106	47.3%	15.3%
食料品卸売業	44	20	45.5%	2.9%
繊維製品卸売業	22	12	54.5%	1.7%
建材・住宅機器卸売業	28	12	42.9%	1.7%
紙・文具卸売業	10	5	50.0%	0.7%
金属・鋼材卸売業	10	6	60.0%	0.9%
一般機械器具卸売業	35	15	42.9%	2.2%
石油・化学製品卸売業	15	7	46.7%	1.0%
その他卸売業	60	29	48.3%	4.2%
小 売 業	222	80	36.0%	11.5%
食料品小売業	53	20	37.7%	2.9%
衣料品・身の回り品卸売業	34	6	17.6%	0.9%
石油・化学製品小売業	5	3	60.0%	0.4%
車両運搬具小売業	16	5	31.3%	0.7%
家電・厨房器具小売業	15	4	26.7%	0.6%
百貨店・セルフ店	10	2	20.0%	0.3%
その他小売業	89	40	44.9%	5.8%
運 輸 ・ 倉 庫 業	70	33	47.1%	4.7%
旅客運送業	20	9	45.0%	1.3%
貨物運送・倉庫業	50	24	48.0%	3.5%
サ ー ビ ス 業	568	255	44.9%	36.7%
情報処理サービス業	70	37	52.9%	5.3%
その他事務所サービス業	331	153	46.2%	22.0%
ホテル・旅館・飲食業	111	40	36.0%	5.8%
その他の個人サービス業	56	25	44.6%	3.6%

## 調査結果のポイント

### 【 業況について 】

- 今期（平成 24 年 4～6 月）の全業種合計の自社業況 DI は▲9.0 で、前期から+6.6 ポイントと 2 期連続の改善となった。DI 値は、（平成 3 年度第 2 四半期以来）84 期連続でマイナス値。
- 業種別では、運輸・倉庫業（17.9→▲3.0）を除く全ての業種で改善。特に、製造業（▲39.0→▲9.7）で大幅な改善となったほか、以下改善幅は建設業（▲24.6→▲16.2）、卸売業（▲15.6→▲11.3）、小売業（▲12.3→▲8.8）、サービス業（▲7.5→▲4.7）の順。
- 改善幅の大きかった製造業からは、「国の省エネ補助金活用等の影響から受注が増加した」など節電・省エネの普及に関連して好調なコメントが寄せられた一方、「計画停電が実施されると生産や工場の操業に大きな影響が出る」といったコメントも多く寄せられた。  
建設業は、2 期連続で改善。「消費税増税を前にマンション建設等は、比較的順調である」「マンション等の改修工事の受注が増加している」「仕事の受注はあるが、受注単価が下落傾向にある」とのコメント。  
また、悪化した運輸・倉庫業からは、「燃料の高騰、輸送単価の引下げ、労働法令の遵守など負担増の要素が多い」「長距離バスの事故を受け、規制等強化された場合の影響が心配される」とのコメントが寄せられた。
- 次四半期（平成 24 年 7～9 月）の予測 DI 値は▲11.8（今期比-2.8 ポイント）と、悪化が見込まれている。中小企業からは、「電力不足による電気料金値上げが実施されれば、コスト上昇分を販売価格の転嫁が出来ないため、厳しさが増す」といった懸念の声も多く聞かれた。

### 【 項目別の動向について 】

- 項目別では、「生産額、売上額、完成工事高 DI」は 4 期連続で改善したほか、「生産額、売上額、完成工事高」、「営業利益 DI」は 2 期連続の改善となった。一方「原材料・製（商）品仕入価格」、「受注価格、販売価格」は 2 期ぶりの下落となった。
- 100 万円以上の新規借入については 2 期連続で減少となっており、次四半期も減少の見込み。新規の借入に慎重な姿勢が現れている。
- 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」52.5%、「得意先開拓・客数の増加」52.5%と集中している。一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」が 77.8%と突出して高く、以下、「客単価の低下」32.4%、「得意先開拓・客数の減少」29.0%、「出荷・販売価格の下落」20.8%の順となっている。
- 当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」56.3%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」52.9%、「営業利益の低下」41.0%の 3 項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ 3 項目に集中している。他に指摘が集中した項目として、建設業では「受注、販売競争の激化」が全業種で 56.3%に対し 70.5%、卸売業では「販売価格の転嫁難」が全業種で 16.1%に対し 29.2%、運輸・倉庫業では「経費の増加」が全業種で 18.0%に対して 30.3%と高くなっているのが特徴。

# 1. 自社・業界の景況

《2期連続の改善、次期予測は悪化へ》

今四半期（H24年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は26.7%（前期比+3.1ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は35.7%（前期比-3.5ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は36.8%（前期比+0.3ポイント）となった。  
DI値は▲9.0（前期DI値▲15.6）となり、前期比で+6.6ポイントと2期連続で改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、今回の調査で製造業が+29.3ポイント（前期DI値▲39.0）、建設業+8.4ポイント（同▲24.6）、卸売業+4.3ポイント（同▲15.6）、小売業+3.5ポイント（同▲12.3）、サービス業+2.8ポイント（同▲7.5）、運輸・倉庫業-20.9ポイント（同17.9）と運輸・倉庫業を除く全ての業種で改善となった。

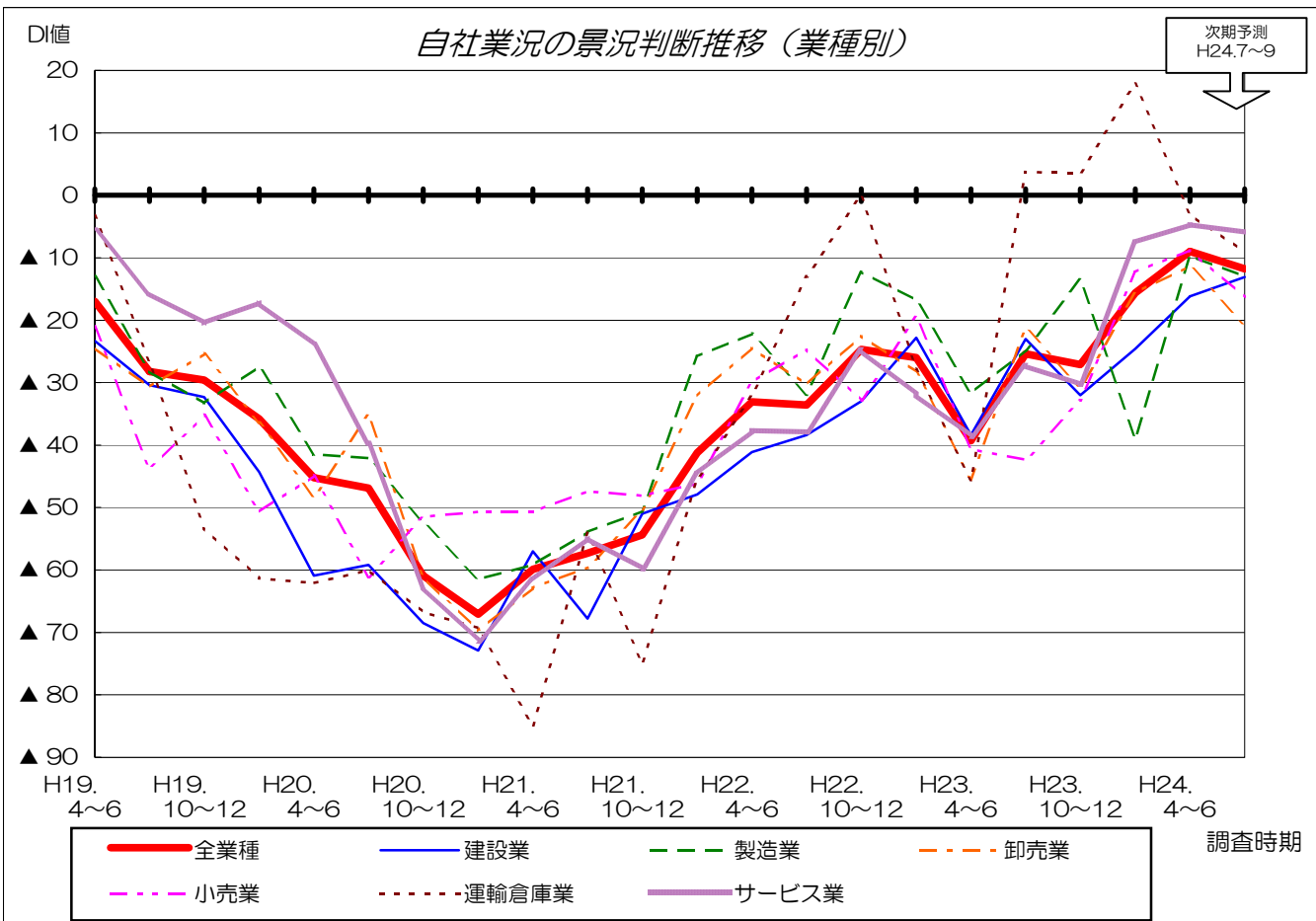
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+6.1ポイント（前期DI値▲16.7）、大企業は前期比+18.5ポイント（同▲2.8）と中小企業、大企業ともに改善となった。

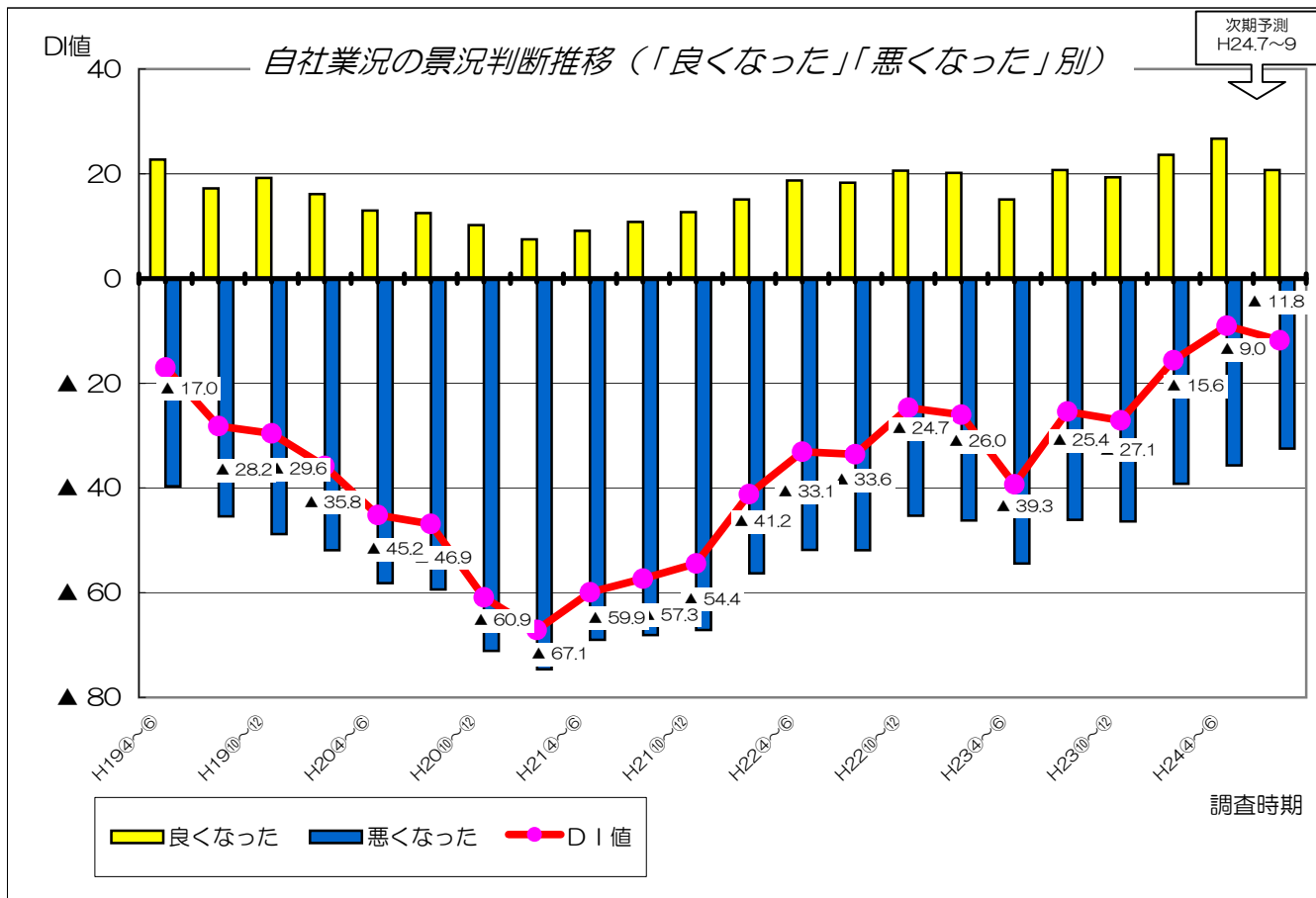
次四半期（H24年7～9月）の全業種予測DI値は▲11.8（今期比-2.8ポイント）となっており、悪化の見込みとなっている。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(24年4～6月期)実績							次四半期(24年7～9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.7	25.0	36.8	29.1	6.6	0.7	▲9.0	0.7	20.0	42.6	27.6	4.9	4.2	▲11.8
建設業	0.8	20.2	41.1	28.7	8.5	0.8	▲16.2	0.0	20.2	42.6	27.9	5.4	3.9	▲13.1
製造業	3.3	26.1	30.4	29.3	9.8	1.1	▲9.7	0.0	20.7	45.7	27.2	6.5	0.0	▲13.0
卸売業	1.9	20.8	42.5	28.3	5.7	0.9	▲11.3	0.0	15.1	42.5	32.1	3.8	6.6	▲20.8
小売業	5.0	23.8	33.8	31.3	6.3	0.0	▲8.8	2.5	20.0	33.8	35.0	3.8	5.0	▲16.3
運輸・倉庫業	0.0	18.2	60.6	21.2	0.0	0.0	▲3.0	0.0	9.1	63.6	18.2	0.0	9.1	▲9.1
サービス業	0.8	30.2	32.5	29.8	5.9	0.8	▲4.7	1.2	23.1	41.6	24.7	5.5	3.9	▲5.9
中小企業	1.4	24.3	37.4	29.4	6.9	0.6	▲10.6	0.3	20.3	42.3	27.8	5.1	4.2	▲12.3
大企業	6.7	35.6	28.9	24.4	2.2	2.2	15.7	6.7	15.6	46.7	24.4	2.2	4.4	▲4.3





### 業界の景況

《業界景況は2期ぶりの悪化、次期予測は改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が10.5%、「悪くなった」と回答した企業割合が46.2%、「横ばい」として回答した企業割合が42.0%となっており、DI値は▲35.7（前期DI値▲35.1）と前期比で-0.6ポイントとほぼ横ばいとなった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が+13.7ポイント（前期DI値▲50.7）、建設業+3.4ポイント（同▲39.0）、の2業種で改善となったが、小売業-11.6ポイント（同▲30.9）、運輸・倉庫業-7.5ポイント（同▲10.7）、卸売業-7.1ポイント（同▲38.3）、サービス業-0.9ポイント（同▲30.4）と製造業、建設業を除く全ての業種で悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-1.6ポイント（前期DI値▲37.1）、大企業は+14.5ポイント（同▲5.6）と規模間で差が見られる。

次四半期予測DI値は▲29.6となっており、今期比+6.1ポイントと改善が予測されている。

《 業界の景気動向（前年同期と比較して） 》

（単位 %）

	今四半期(24年4~6月期)実績							次四半期(24年7~9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.9	9.6	42.0	37.7	8.5	1.3	▲35.7	0.3	9.8	45.3	33.7	6.0	4.9	▲29.6
建設業	0.8	10.1	41.9	37.2	9.3	0.8	▲35.6	0.0	13.2	40.3	35.7	6.2	4.7	▲28.7
製造業	1.1	6.5	46.7	34.8	9.8	1.1	▲37.0	0.0	6.5	53.3	33.7	6.5	0.0	▲33.7
卸売業	0.9	6.6	38.7	47.2	5.7	0.9	▲45.4	0.0	3.8	46.2	36.8	6.6	6.6	▲39.6
小売業	2.5	10.0	31.3	42.5	12.5	1.3	▲42.5	1.3	12.5	31.3	41.3	7.5	6.3	▲35.0
運輸・倉庫業	0.0	12.1	57.6	24.2	6.1	0.0	▲18.2	0.0	3.0	63.6	24.2	0.0	9.1	▲21.2
サービス業	0.4	11.4	43.1	35.3	7.8	2.0	▲31.3	0.4	11.8	46.7	30.2	5.9	5.1	▲23.9
中小企業	0.6	8.5	41.8	38.9	8.9	1.2	▲38.7	0.0	9.8	44.2	34.8	6.3	4.9	▲31.3
大企業	4.4	26.7	44.4	20.0	2.2	2.2	8.9	4.4	8.9	62.2	17.8	2.2	4.4	▲6.7

## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《4期連続の改善、次期予測は悪化へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は23.0%、「減った」と回答した企業割合は29.8%となっており、DI値は▲6.8（前期DI値▲10.8）と前期比+4.0ポイントの改善となった。

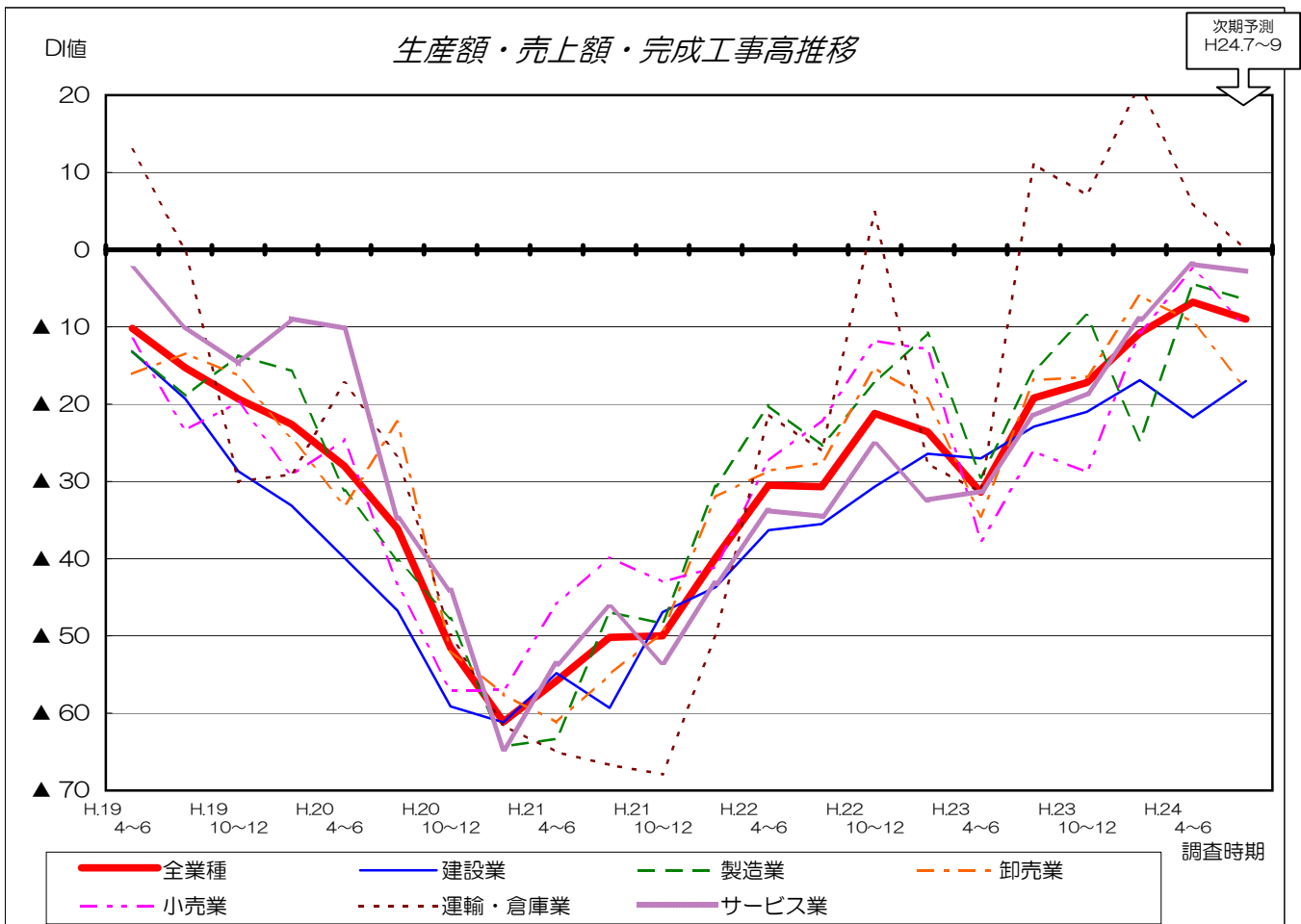
業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が+20.3ポイント、小売業+8.2ポイント、サービス業+7.1ポイントと改善したものの、運輸・倉庫業-15.3ポイント、建設業-4.8ポイント、卸売業-3.5ポイントと3業種で悪化となり、業種間で差が見られる。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」52.5%、「得意先開拓・客数の増加」52.5%に集中している。減少した理由としては、「受注、需要の減少」が77.8%と突出し、「客単価の低下」32.4%、「得意先開拓・客数の減少」29.0%、「出荷・販売価格の下落」20.8%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+3.9ポイント（前期DI値▲12.4）、大企業は前期比+3.8ポイント（同13.9）と中小企業・大企業ともに改善となった。

（単位 %）

	今四半期(24年4～6月期)実績							次四半期(24年7～9月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	5.3	17.7	42.9	22.6	7.2	4.3	▲6.8	2.4	14.4	49.1	21.3	4.5	8.3	▲9.0
建設業	2.3	10.9	49.6	27.9	7.0	2.3	▲21.7	0.0	14.0	50.4	27.9	3.1	4.7	▲17.0
製造業	6.5	21.7	35.9	22.8	9.8	3.3	▲4.4	3.3	17.4	48.9	19.6	7.6	3.3	▲6.5
卸売業	5.7	12.3	50.9	20.8	6.6	3.8	▲9.4	1.9	7.5	53.8	23.6	3.8	9.4	▲18.0
小売業	11.3	13.8	40.0	21.3	6.3	7.5	▲2.5	5.0	11.3	43.8	21.3	5.0	13.8	▲10.0
運輸・倉庫業	0.0	24.2	48.5	18.2	0.0	9.1	6.0	0.0	12.1	54.5	12.1	0.0	21.2	0.0
サービス業	5.1	22.4	38.8	21.6	7.8	4.3	▲1.9	3.1	17.6	47.5	18.8	4.7	8.2	▲2.8
中小企業	4.9	17.2	42.8	23.4	7.2	4.5	▲8.5	2.0	14.9	48.5	21.4	4.6	8.6	▲9.1
大企業	11.1	24.4	44.4	11.1	6.7	2.2	17.7	8.9	6.7	57.8	20.0	2.2	4.4	▲6.6



参考資料：（ 2. 生産額、売上額、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増受注又は需要の減少	情道の路、変化、交通事	ズは製（商）品又は消費変化	金格出荷定上・販、売価	促売進出等の販売	へ開新製（商）野品	業業大手企業、同	客得数の先増開拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	11.9	52.5	0.6	3.8	6.9	8.1	16.3	3.1	52.5	9.4	9.4
建設業	5.9	82.4	0.0	5.9	11.8	0.0	5.9	5.9	35.3	5.9	0.0
製造業	11.5	61.5	0.0	3.8	7.7	7.7	26.9	0.0	50.0	11.5	7.7
卸売業	31.6	47.4	0.0	5.3	21.1	5.3	15.8	5.3	47.4	15.8	21.1
小売業	20.0	40.0	5.0	10.0	5.0	15.0	5.0	10.0	40.0	15.0	20.0
運輸・倉庫業	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0
サービス業	7.1	47.1	0.0	0.0	2.9	10.0	18.6	1.4	62.9	7.1	7.1
中小企業	12.5	52.8	0.7	3.5	6.9	7.6	16.0	3.5	52.8	10.4	10.4
大企業	6.3	50.0	0.0	6.3	6.3	12.5	18.8	0.0	50.0	0.0	0.0

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜、ダウンの商向	採算部門の縮小	変移工場、立地の増減	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争	又両機は導廃止、買替車	員営の増、減、外	手技の増者、減、運	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	3.1	3.1	0.0	6.3	0.6	1.3	5.0	1.9	0.0	11.3	1.3
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	23.5	5.9
製造業	11.5	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5	0.0
小売業	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
サービス業	0.0	2.9	0.0	8.6	1.4	0.0	4.3	2.9	0.0	10.0	1.4
中小企業	3.5	3.5	0.0	6.3	0.7	1.4	5.6	1.4	0.0	9.0	1.4
大企業	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	31.3	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増受注又は需要の減少	情道の路、変化、交通事	ズは製（商）品又は消費変化	金格出荷定上・販、売価	促売進出等の販売	へ開新製（商）野品	業業大手企業、同	客得数の先増開拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	9.7	77.8	0.0	14.5	20.8	1.9	0.5	18.4	29.0	32.4	4.8
建設業	6.7	88.9	0.0	4.4	6.7	0.0	2.2	20.0	20.0	37.8	0.0
製造業	0.0	86.7	0.0	16.7	26.7	3.3	0.0	3.3	16.7	16.7	10.0
卸売業	24.1	82.8	0.0	20.7	31.0	0.0	0.0	24.1	20.7	27.6	20.7
小売業	18.2	77.3	0.0	27.3	18.2	9.1	0.0	31.8	50.0	50.0	4.5
運輸・倉庫業	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0
サービス業	8.0	66.7	0.0	14.7	25.3	1.3	0.0	18.7	34.7	33.3	0.0
中小企業	9.5	77.4	0.0	14.1	21.1	1.5	0.5	19.1	29.6	33.2	4.5
大企業	12.5	87.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜、ダウンの商向	採算部門の縮小	変移工場、立地の増減	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争	又両機は導廃止、買替車	員営の増、減、外	手技の増者、減、運	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	1.0	2.9	1.0	1.0	2.9	1.4	2.9	4.8	0.0	4.8	2.4
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	2.2	2.2
製造業	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
卸売業	6.9	3.4	0.0	0.0	6.9	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0
小売業	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7
サービス業	0.0	2.7	0.0	2.7	2.7	2.7	5.3	8.0	0.0	6.7	2.7
中小企業	1.0	2.0	0.5	1.0	3.0	1.5	3.0	5.0	0.0	4.5	2.5
大企業	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0



### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《2期ぶりに下落、次期予測はさらに下落へ》

原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は19.7%、「下落」と回答した企業割合は5.8%となっており、DI値は（前期DI値22.2）と前期比-8.3ポイントの「下落」となっている。

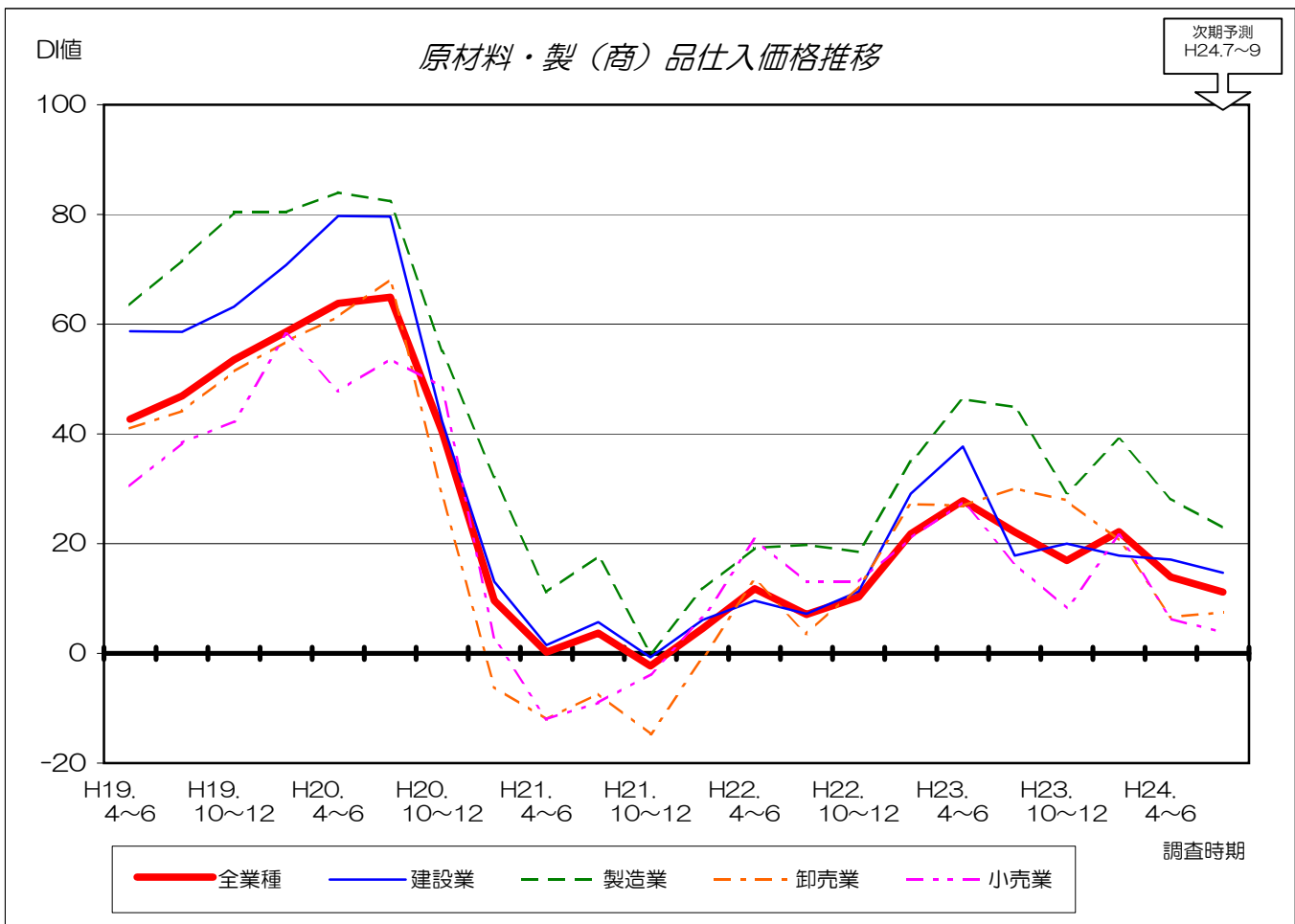
業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が-27.7ポイント、小売業-15.2ポイント、卸売業-14.0ポイント、製造業-10.8ポイント、サービス業-3.8ポイント、建設業-0.7ポイントと全ての業種で下落となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-8.0ポイント（前期DI値21.8）、大企業は前期比-6.6ポイント（同22.2）と中小企業・大企業ともに下落となっている。

また、次四半期予測DI値については11.2となっており、今期比で-2.7ポイントと更に「下落」予測となっている。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(24年4~6月期)実績					次四半期(24年7~9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	19.7	62.6	5.8	11.9	13.9	16.5	59.0	5.3	19.1	11.2
建設業	17.1	79.1	0.0	3.9	17.1	16.3	73.6	1.6	8.5	14.7
製造業	31.5	60.9	3.3	4.3	28.2	27.2	60.9	4.3	7.6	22.9
卸売業	20.8	63.2	14.2	1.9	6.6	19.8	55.7	12.3	12.3	7.5
小売業	23.8	56.3	17.5	2.5	6.3	18.8	56.3	15.0	10.0	3.8
運輸・倉庫業	18.2	36.4	3.0	42.4	15.2	6.1	33.3	3.0	57.6	3.1
サービス業	15.3	60.0	2.7	22.0	12.6	12.2	56.5	2.0	29.4	10.2
中小企業	19.8	62.3	6.0	11.8	13.8	16.3	58.9	5.5	19.2	10.8
大企業	17.8	66.7	2.2	13.3	15.6	20.0	60.0	2.2	17.8	17.8



#### 4. 受注価格、販売価格

《2期ぶりの悪化、次期予測は改善へ》

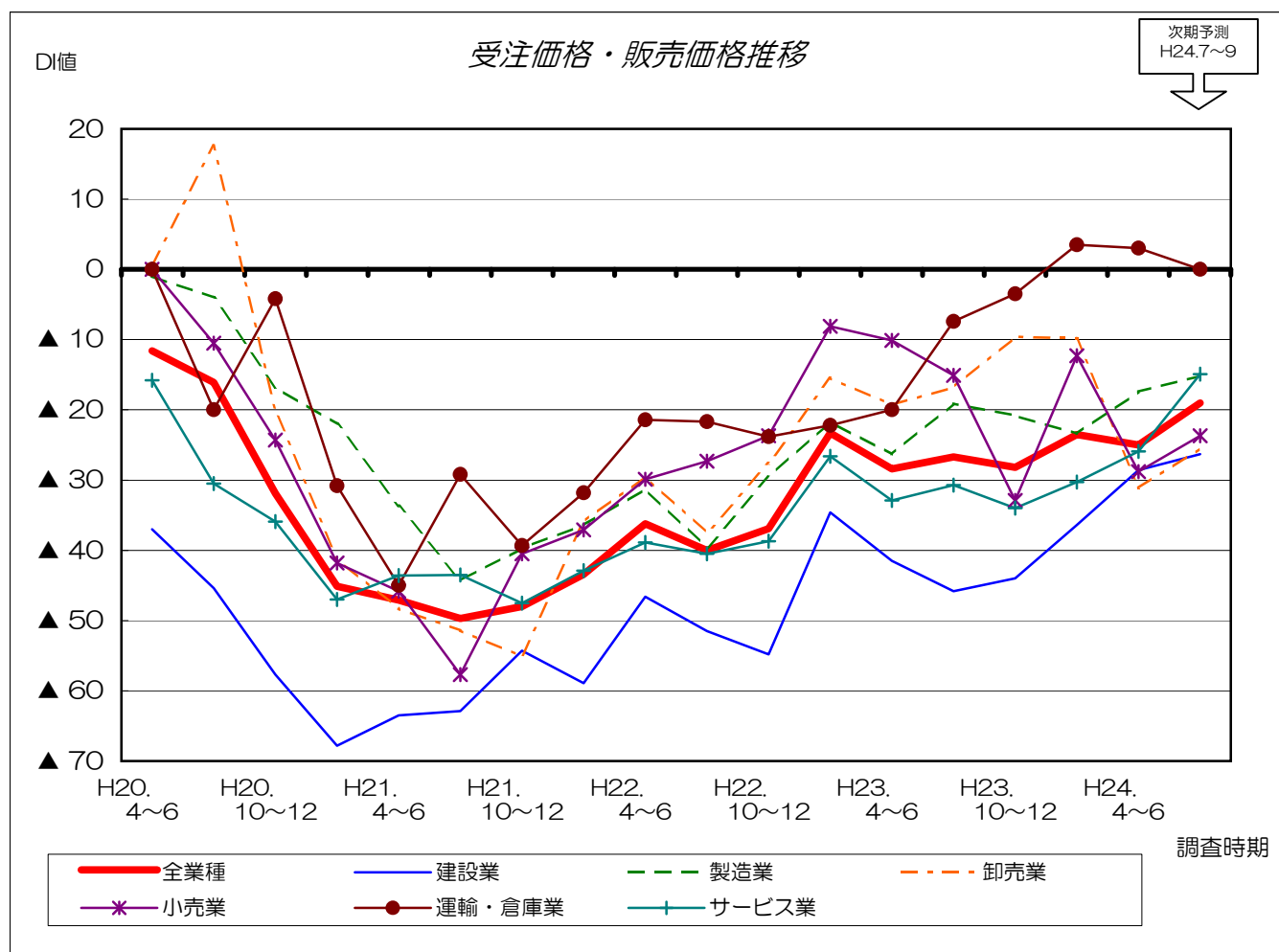
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は5.2%、「下落」と回答した企業割合は30.2%となっており、DI値は▲25.0（前期DI値▲23.5）と前期比-1.5ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業+7.8ポイント、製造業+6.0ポイント、サービス業+4.4ポイントと改善したものの、卸売業-21.3ポイント、小売業-16.5ポイント、運輸・倉庫業-0.5ポイントの悪化となり、業種間で差が見られる。

次四半期予測DI値については▲19.0となっており、今期比で+6.0ポイントの改善予測となっている。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(24年4~6月期)実績					次四半期(24年7~9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	5.2	60.7	30.2	3.9	▲25.0	4.7	60.0	23.7	11.5	▲19.0
建設業	4.7	61.2	33.3	0.8	▲28.6	3.9	60.5	30.2	5.4	▲26.3
製造業	3.3	75.0	20.7	1.1	▲17.4	3.3	70.7	18.5	7.6	▲15.2
卸売業	6.6	53.8	37.7	1.9	▲31.1	4.7	54.7	30.2	10.4	▲25.5
小売業	7.5	55.0	36.3	1.3	▲28.8	6.3	55.0	30.0	8.8	▲23.7
運輸・倉庫業	3.0	84.8	0.0	12.1	3.0	0.0	72.7	0.0	27.3	0.0
サービス業	5.1	56.9	31.0	7.1	▲25.9	5.9	58.0	20.8	15.3	▲14.9
中小企業	5.1	60.2	30.6	4.2	▲25.5	4.8	59.5	23.7	12.0	▲18.9
大企業	6.7	68.9	24.4	0.0	▲17.7	4.4	66.7	24.4	4.4	▲20.0



## 5. 製（商）品在庫

《ほぼ横ばい、次期予測は改善へ》

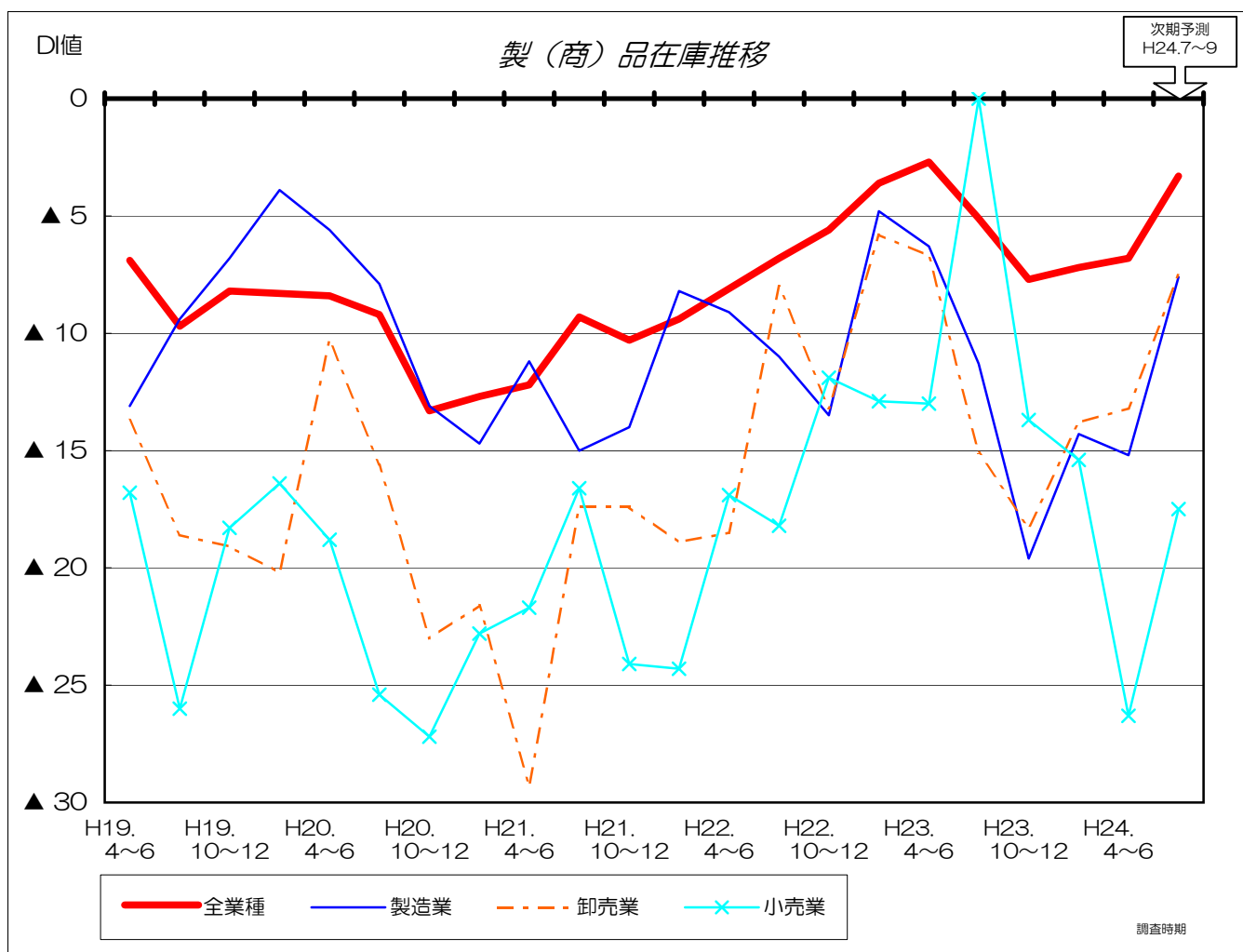
製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は64.6%、「不足」と回答した企業割合は2.4%、「過剰」と回答した企業割合は9.2%となっており、DI値は▲6.8（前期DI値▲7.2）と前期比+0.4ポイントとほぼ横ばいとなった。

次四半期予測DI値については▲3.3となっており、今期比で+3.5ポイントの改善が予測されている。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(24年4～6月期)実績					次四半期(24年7～9月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	2.4	64.6	9.2	23.7	▲6.8	2.3	61.4	5.6	30.6	▲3.3
建設業	2.3	55.8	3.9	38.0	▲1.6	2.3	56.6	0.8	40.3	1.5
製造業	1.1	81.5	16.3	1.1	▲15.2	1.1	80.4	8.7	9.8	▲7.6
卸売業	2.8	79.2	16.0	1.9	▲13.2	1.9	78.3	9.4	10.4	▲7.5
小売業	0.0	72.5	26.3	1.3	▲26.3	0.0	71.3	17.5	11.3	▲17.5
運輸・倉庫業	0.0	39.4	3.0	57.6	▲3.0	0.0	27.3	3.0	69.7	▲3.0
サービス業	3.9	57.6	2.0	36.5	1.9	3.9	51.4	2.0	42.7	1.9
中小企業	2.5	64.5	9.2	23.8	▲6.7	2.3	61.4	5.4	30.9	▲3.1
大企業	2.2	66.7	8.9	22.2	▲6.7	2.2	62.2	8.9	26.7	▲6.7



## 6. 営業利益

《2期連続の改善、次期予測は更に改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は18.8%、「減少」と回答した企業割合は38.1%、「横ばい」と回答した企業割合は41.6となり、DI値は▲19.3（前期DI値▲27.6）と前期比+8.3ポイントの改善となった。

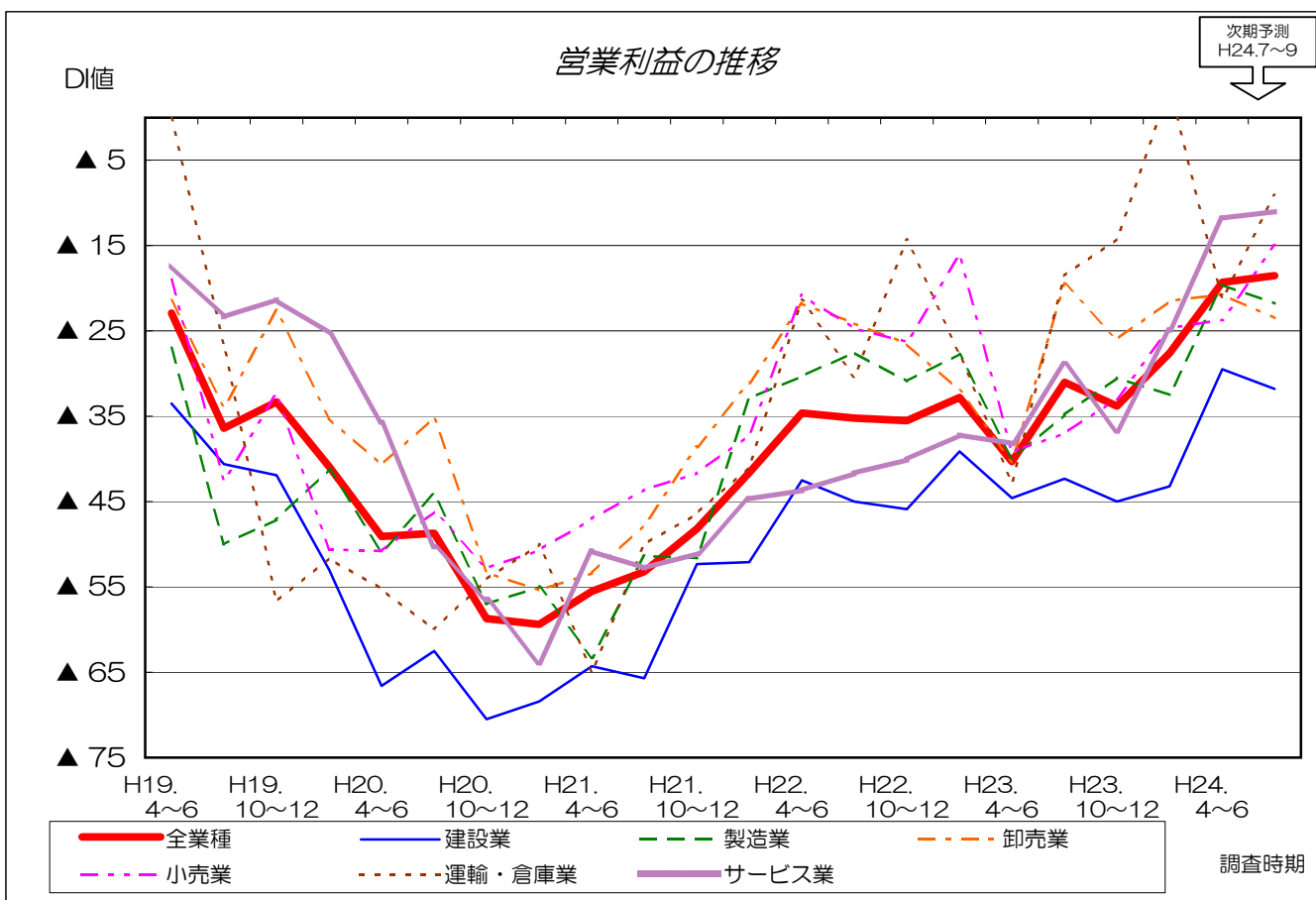
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+13.7ポイント（前期DI値▲43.2）、サービス業+13.1ポイント（同▲24.9）、製造業+12.9ポイント（同▲32.5）、小売業+1.0ポイント（同▲24.7）、卸売業+0.8ポイント（同▲21.5）、運輸・倉庫業-24.7ポイント（同3.5）運輸・倉庫業を除く全ての業種で改善となった。規模別のDI値を見ると、中小企業では前期比+8.5ポイント（前期DI値▲29.4）、大企業は前期比+4.4ポイント（同±0.0）と中小企業・大企業ともに改善となった。

次四半期予測DI値については▲18.5となっており、今期比で+0.8ポイントの改善が予測されている。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(24年4~6月期)実績					次四半期(24年7~9月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	18.8	41.6	38.1	1.4	▲19.3	12.7	46.5	31.2	9.6	▲18.5
建設業	9.3	51.9	38.8	0.0	▲29.5	6.2	50.4	38.0	5.4	▲31.8
製造業	23.9	31.5	43.5	1.1	▲19.6	13.0	44.6	34.8	7.6	▲21.8
卸売業	12.3	51.9	33.0	2.8	▲20.7	5.7	52.8	29.2	12.3	▲23.5
小売業	21.3	33.8	45.0	0.0	▲23.7	15.0	46.3	30.0	8.8	▲15.0
運輸・倉庫業	12.1	51.5	33.3	3.0	▲21.2	9.1	54.5	18.2	18.2	▲9.1
サービス業	24.7	36.9	36.5	2.0	▲11.8	18.4	41.6	29.4	10.6	▲11.0
中小企業	18.5	40.6	39.4	1.5	▲20.9	12.6	45.1	32.3	10.0	▲19.7
大企業	24.4	55.6	20.0	0.0	4.4	13.3	66.7	15.6	4.4	▲2.3



## 7. 売掛期間

《2期ぶりの改善、次期予測は更に改善へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は1.9%、「長期化」と回答した企業割合は8.2%、「不変」と回答した企業割合は85.6%となっており、D I値は▲6.3（前期D I値▲7.6）と前期比+1.3ポイントの改善となった。

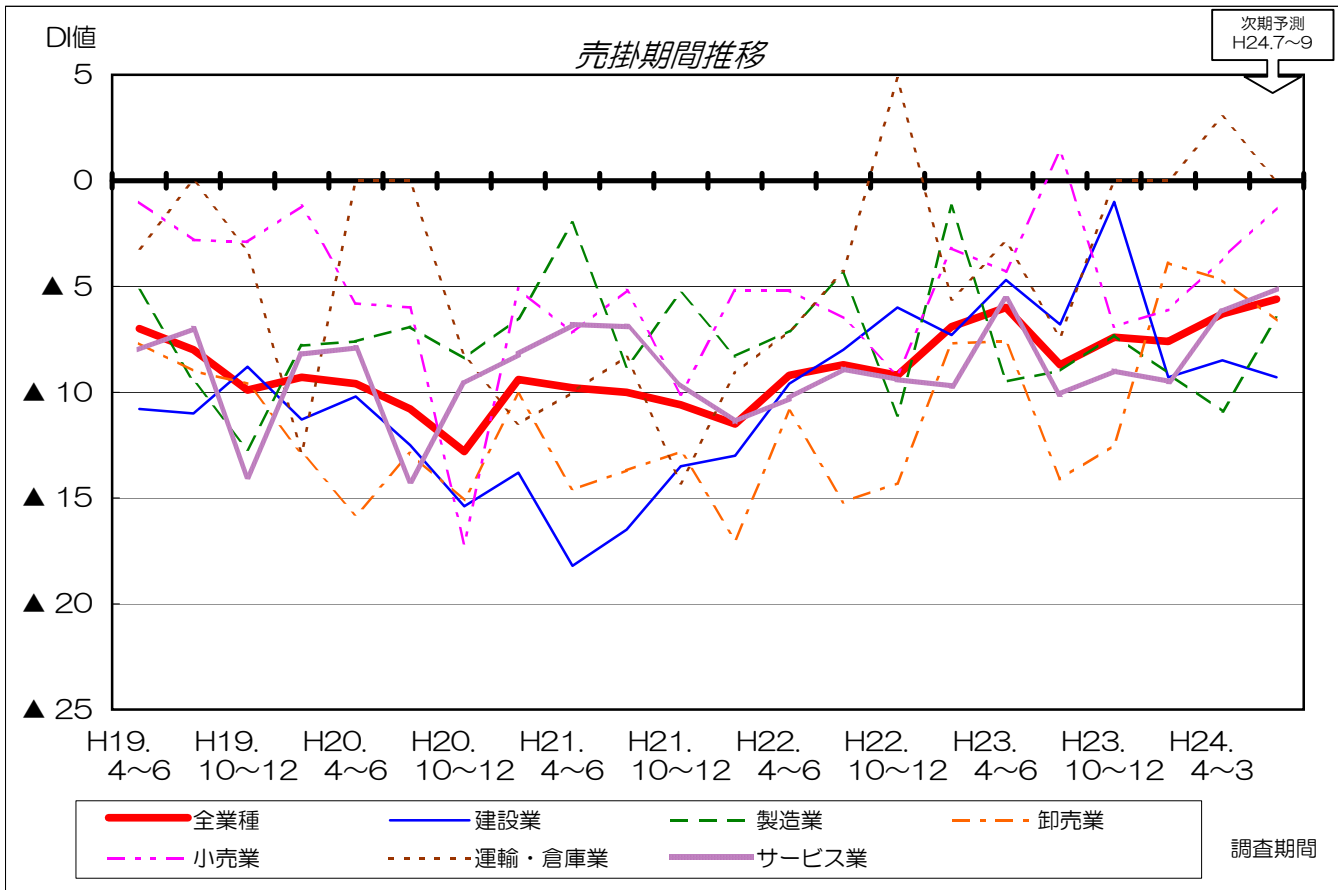
規模別のD I値を見ると、中小企業は前期比+1.7ポイント（前期D I値▲8.5）と改善したものの、大企業では前期比-5.6ポイント（同5.6）の悪化となり、規模間で差が見られる。

次四半期予測D I値については▲5.6となっており、今期比で+0.7ポイントの改善が予測されている。

《 売掛期間(前年同期と比較して)》

( 単位 % )

	今四半期(24年4~6月期)実績					次四半期(24年7~9月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	D I値	短縮化	不変	長期化	未記入	D I値
全業種	1.9	85.6	8.2	4.3	▲6.3	1.6	79.1	7.2	12.1	▲5.6
建設業	1.6	85.3	10.1	3.1	▲8.5	0.8	81.4	10.1	7.8	▲9.3
製造業	1.1	85.9	12.0	1.1	▲10.9	1.1	83.7	7.6	7.6	▲6.5
卸売業	1.9	90.6	6.6	0.9	▲4.7	0.9	81.1	7.5	10.4	▲6.6
小売業	3.8	87.5	7.5	1.3	▲3.7	5.0	78.8	6.3	10.0	▲1.3
運輸・倉庫業	3.0	90.9	0.0	6.1	3.0	0.0	75.8	0.0	24.2	0.0
サービス業	1.6	82.4	7.8	8.2	▲6.2	1.6	76.1	6.7	15.7	▲5.1
中小企業	1.8	85.2	8.6	4.3	▲6.8	1.5	78.6	7.5	12.3	▲6.0
大企業	2.2	91.1	2.2	4.4	0.0	2.2	86.7	2.2	8.9	0.0



## 8. 資金繰り

《3期ぶりの改善、次期予測は悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は5.9%、「苦しい」と回答した企業は20.7%、「不変」と回答した企業は71.4%となっており、DI値は▲14.8（前期DI値▲20.8）と前期比+6.0ポイントの3期ぶりの改善となった。

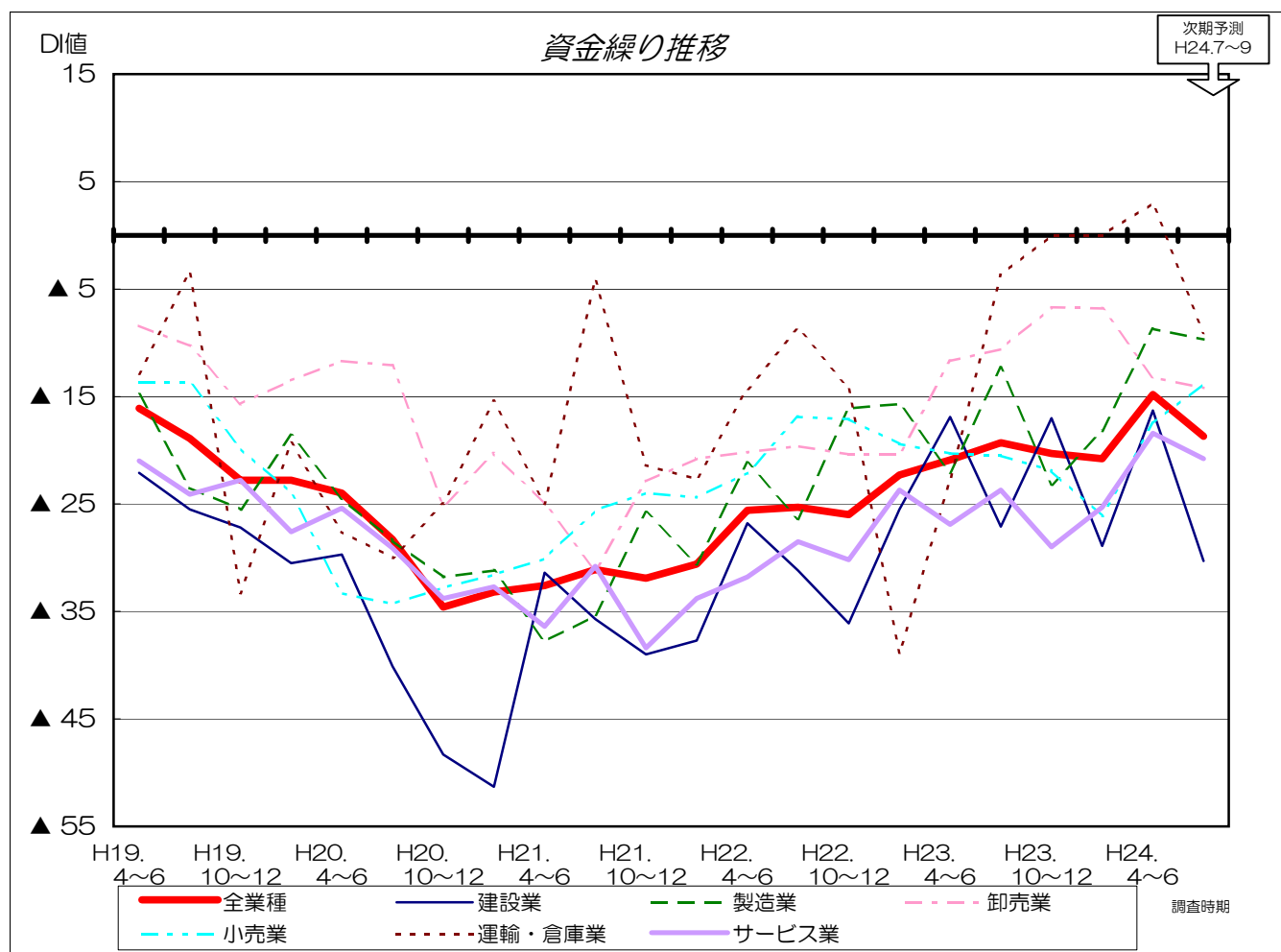
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+12.6ポイント、製造業+9.5ポイント、小売業+8.6ポイント、サービス業+6.9ポイント、運輸・倉庫業+3.0ポイント、卸売業-6.4ポイントと卸売業を除く、全ての業種で改善となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+6.2ポイント（前期DI値▲22.3）、大企業は前期比+1.7ポイント（前期DI値2.8）と共に改善した。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(24年4~6月期)実績					次四半期(24年7~9月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	5.9	71.4	20.7	2.0	▲14.8	4.5	62.6	23.2	9.8	▲18.7
建設業	5.4	72.1	21.7	0.8	▲16.3	2.3	59.7	32.6	5.4	▲30.3
製造業	4.3	80.4	13.0	2.2	▲8.7	3.3	76.1	13.0	7.6	▲9.7
卸売業	2.8	78.3	16.0	2.8	▲13.2	2.8	69.8	17.0	10.4	▲14.2
小売業	7.5	65.0	25.0	2.5	▲17.5	7.5	61.3	21.3	10.0	▲13.8
運輸・倉庫業	12.1	72.7	9.1	6.1	3.0	6.1	57.6	15.2	21.2	▲9.1
サービス業	6.7	66.7	25.1	1.6	▲18.4	5.5	57.3	26.3	11.0	▲20.8
中小企業	5.7	70.3	21.8	2.2	▲16.1	4.5	60.9	24.5	10.2	▲20.0
大企業	8.9	86.7	4.4	0.0	4.5	4.4	86.7	4.4	4.4	0.0



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は36.5%（前期42.1%）と前期比で-5.6%の減少となった。一方で、「行っていない」とする企業は61.6%（前期56.2%）と前期比で+5.4%の増加となった。

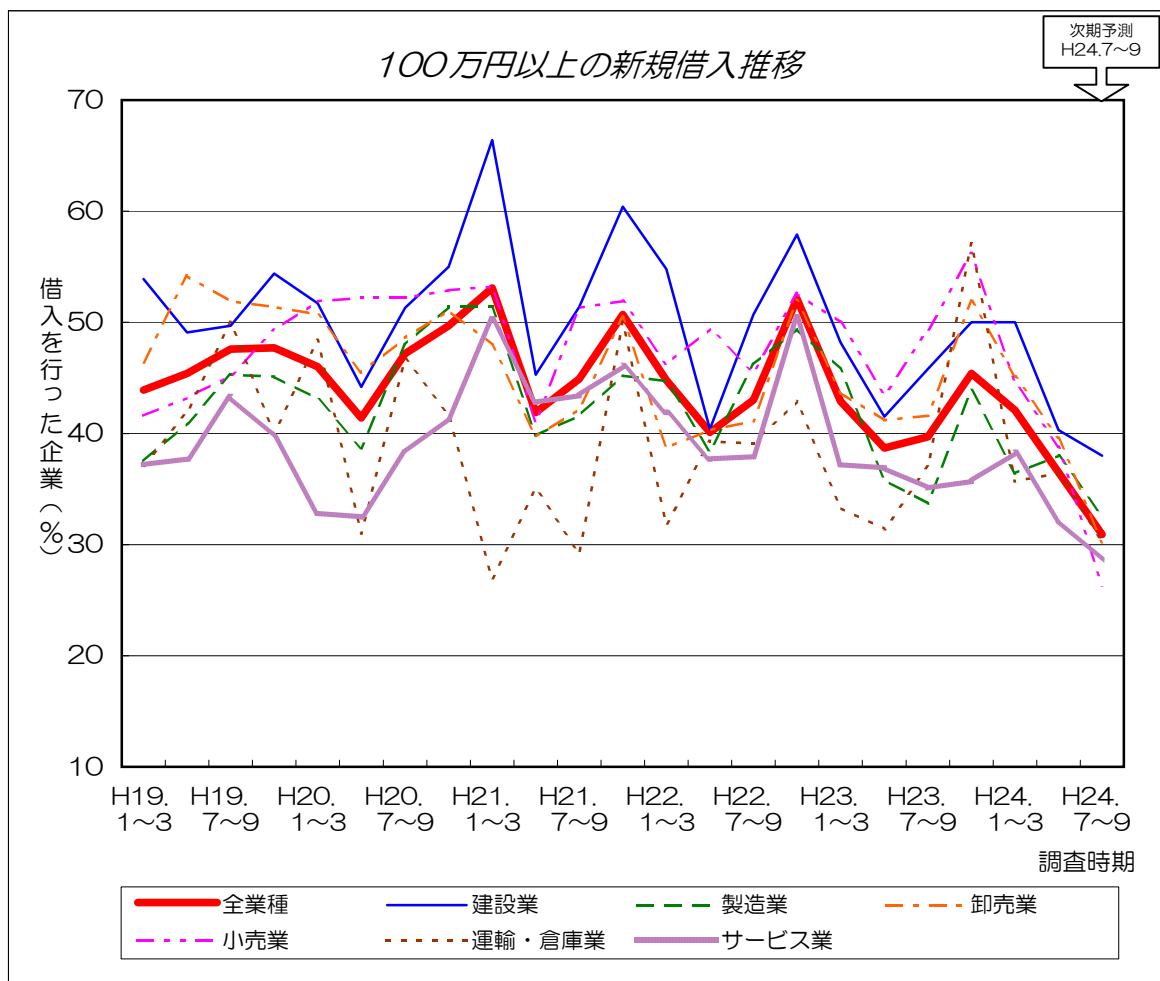
資金用途については、「運転」68.9%、「運転・設備」13.8%、「設備」10.2%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は30.9%、「行わない」とする企業は60.7%となっている。

《 100万円以上の新規借入 》

（単位 %）

	今四半期(24年4~6月期)実績			次四半期(24年7~9月期)予測		
	行った	行っていない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	36.5	61.6	1.9	30.9	60.7	8.3
建設業	40.3	58.1	1.6	38.0	57.4	4.7
製造業	38.0	56.5	5.4	32.6	60.9	6.5
卸売業	39.6	58.5	1.9	30.2	61.3	8.5
小売業	38.8	60.0	1.3	26.3	66.3	7.5
運輸・倉庫業	36.4	63.6	0.0	30.3	57.6	12.1
サービス業	32.2	66.7	1.2	28.6	60.8	10.6
中小企業	36.5	62.2	1.4	30.5	61.2	8.3
大企業	37.8	53.3	8.9	37.8	53.3	8.9



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	68.9	13.8	10.2	7.1	70.7	14.4	9.8	5.1
建設業	84.6	5.8	3.8	5.8	91.8	2.0	2.0	4.1
製造業	65.7	17.1	14.3	2.9	53.3	23.3	13.3	10.0
卸売業	78.6	9.5	4.8	7.1	68.8	12.5	15.6	3.1
小売業	54.8	25.8	16.1	3.2	61.9	33.3	4.8	0.0
運輸・倉庫業	41.7	33.3	16.7	8.3	60.0	10.0	10.0	20.0
サービス業	64.6	12.2	12.2	11.0	68.5	15.1	12.3	4.1
中小企業	70.9	11.8	10.5	6.8	73.7	11.1	10.1	5.1
大企業	41.2	41.2	5.9	11.8	35.3	52.9	5.9	5.9



## 10. 100万円以上の設備投資

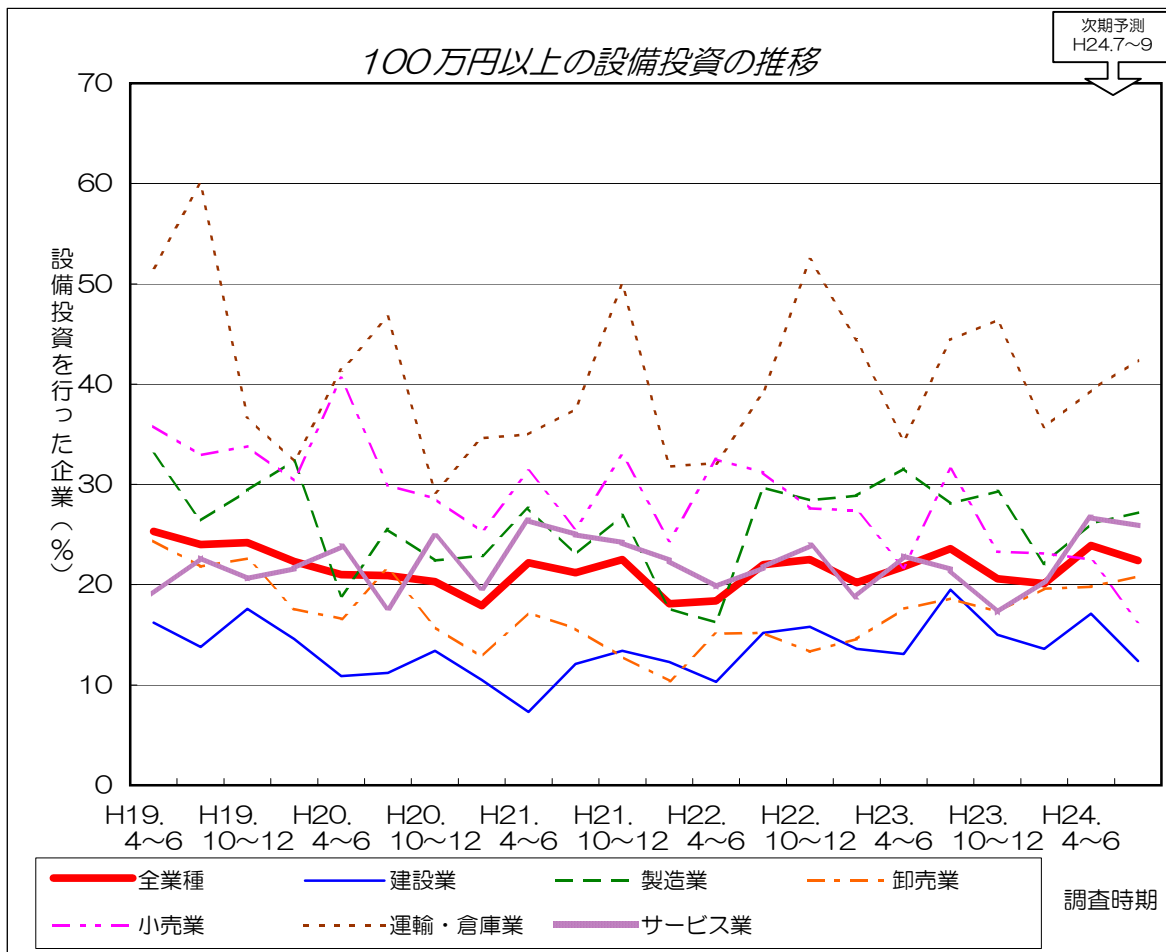
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は23.9%、「行ってない」とする企業は71.7%となっており、その投資内容については、「新規・更新」36.1%、「新規」25.9%、「更新」30.7%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は22.4%、「行わない」とする企業は67.3%であり、その投資内容については、「新規・更新」39.1%、「新規」18.6%、「更新」38.5%となっている。

《 100万円以上の設備投資 》

(単位 %)

	今四半期(24年4~6月期)実績			次四半期(24年7~9月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	23.9	71.7	4.5	22.4	67.3	10.2
建設業	17.1	79.8	3.1	12.4	80.6	7.0
製造業	26.1	70.7	3.3	27.2	63.0	9.8
卸売業	19.8	75.5	4.7	20.8	68.9	10.4
小売業	22.5	76.3	1.3	16.3	73.8	10.0
運輸・倉庫業	39.4	54.5	6.1	42.4	45.5	12.1
サービス業	26.7	67.1	6.3	25.9	62.4	11.8
中小企業	21.8	73.7	4.5	20.5	69.5	10.0
大企業	53.3	42.2	4.4	51.1	35.6	13.3



## 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	25.9	36.1	30.7	7.2	18.6	39.1	38.5	3.8
建設業	40.9	22.7	36.4	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0
製造業	16.7	37.5	37.5	8.3	12.0	36.0	48.0	4.0
卸売業	14.3	33.3	42.9	9.5	22.7	45.5	27.3	4.5
小売業	27.8	55.6	11.1	5.6	0.0	84.6	7.7	7.7
運輸・倉庫業	15.4	53.8	23.1	7.7	21.4	14.3	64.3	0.0
サービス業	29.4	32.4	29.4	8.8	18.2	34.8	42.4	4.5
中小企業	28.2	33.1	31.7	7.0	21.1	33.8	42.1	3.0
大企業	12.5	54.2	25.0	8.3	4.3	69.6	17.4	8.7

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」56.3%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」52.9%、「営業利益の低下」41.0%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、建設業では「受注、販売競争の激化」が全業種で56.3%に対し70.5%、卸売業では「販売価格への転嫁難」が全業種で16.1%に対し27.2%、運輸・倉庫業では「経費の増加」が全業種で18.0%に対し30.3%と突出し、高水準となっているのが特徴である。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

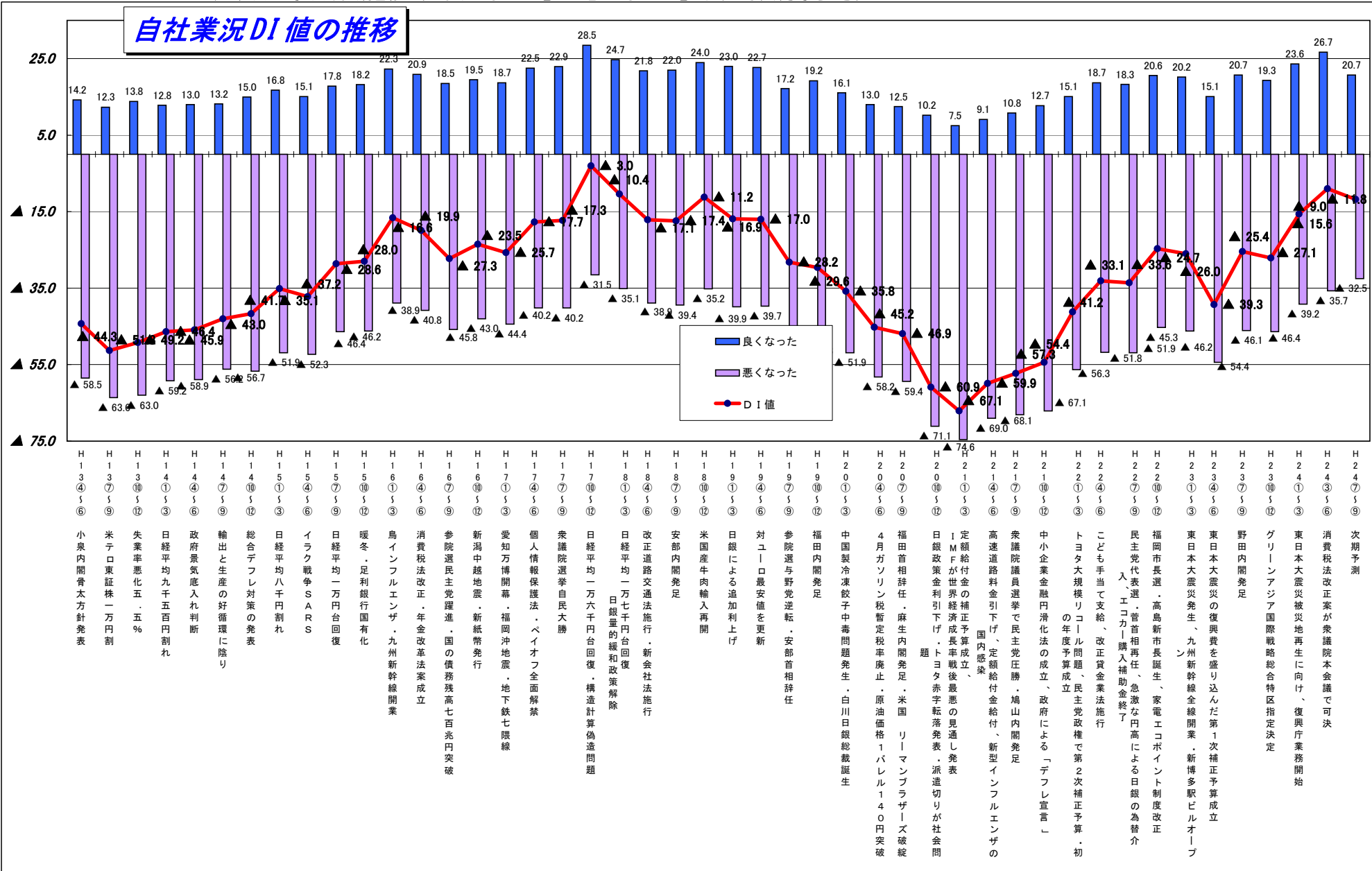
(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注、販売競争の激化	び額売、上額、工事高の伸び	出店、業者、大型店の進	店同、業者、大型店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、売代金の回収
全業種	56.3	52.9	14.0	17.0	2.0	6.6	4.9	11.8	14.5	3.3	16.1	4.0	5.8
建設業	70.5	59.7	6.2	35.7	0.8	23.3	4.7	7.0	10.1	0.8	12.4	5.4	8.5
製造業	52.2	59.8	5.4	8.7	4.3	1.1	13.0	22.8	25.0	2.2	27.2	1.1	7.6
卸売業	63.2	50.9	12.3	14.2	5.7	2.8	4.7	16.0	24.5	8.5	29.2	4.7	5.7
小売業	47.5	53.8	30.0	6.3	2.5	0.0	0.0	10.0	10.0	13.8	13.8	10.0	5.0
運輸・倉庫業	27.3	45.5	12.1	12.1	3.0	0.0	18.2	12.1	9.1	0.0	15.2	0.0	0.0
サービス業	54.1	48.6	16.9	15.7	0.0	4.7	2.0	9.0	11.0	0.0	9.4	2.7	4.7
中小企業	55.2	52.8	14.2	17.1	2.0	7.1	4.5	11.7	14.3	3.2	16.2	4.2	6.2
大企業	71.1	55.6	11.1	15.6	2.2	0.0	11.1	13.3	17.8	4.4	15.6	2.2	0.0

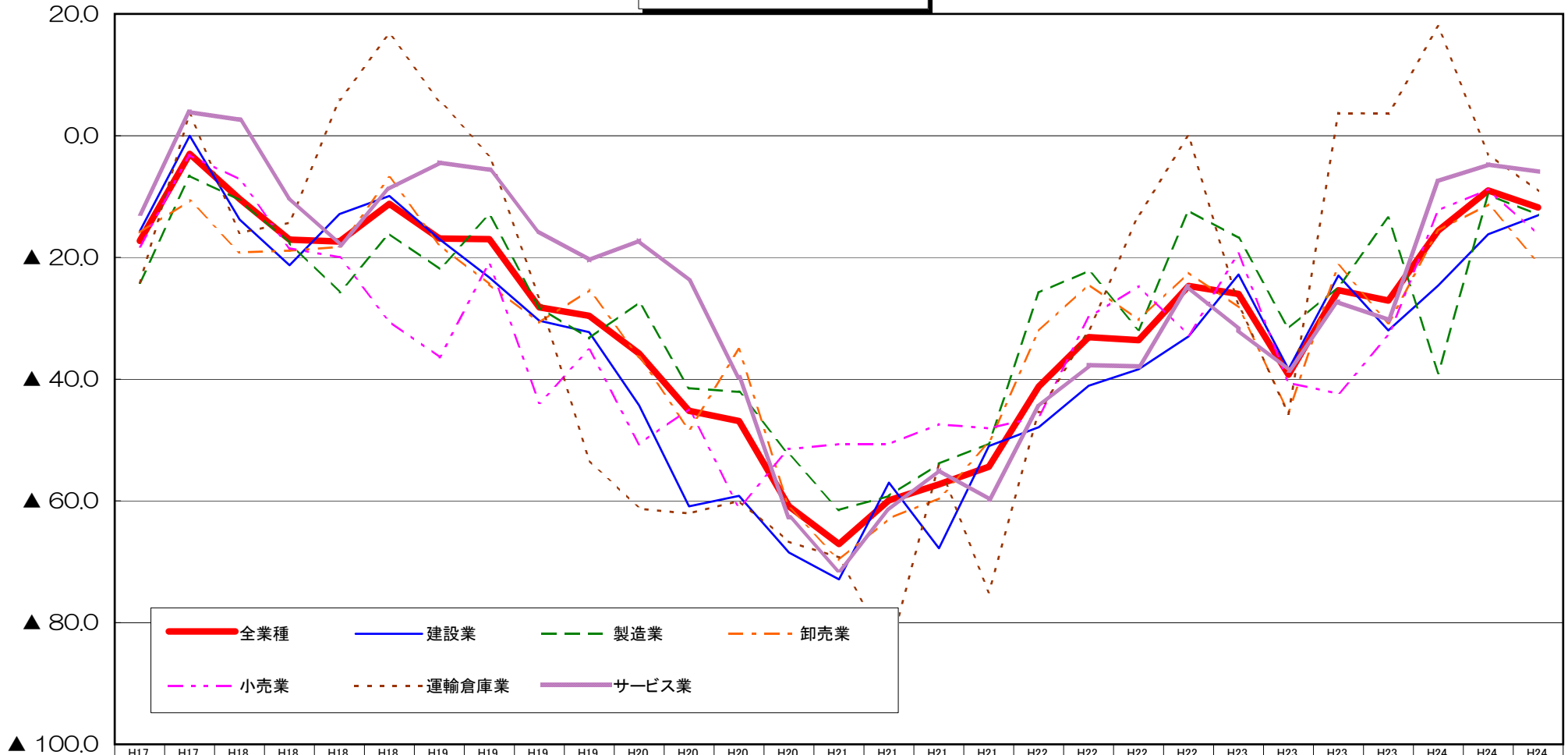
問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代化、老朽化、近	店舗、設備、過	が家賃地代の値上	化難人、材定着、性の悪	費人手過剩、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他
全業種	18.0	41.0	1.6	7.1	0.9	19.4	7.1	4.9	7.8	4.0	4.2	2.9	2.7
建設業	10.9	51.2	1.6	3.1	0.0	17.8	4.7	3.1	5.4	7.0	4.7	0.8	3.1
製造業	10.9	35.9	0.0	7.6	0.0	8.7	6.5	0.0	6.5	3.3	1.1	3.3	2.2
卸売業	11.3	39.6	2.8	4.7	0.0	13.2	3.8	3.8	5.7	2.8	4.7	2.8	0.9
小売業	27.5	45.0	2.5	5.0	3.8	22.5	8.8	5.0	5.0	3.8	3.8	3.8	2.5
運輸・倉庫業	30.3	30.3	3.0	9.1	0.0	27.3	3.0	21.2	6.1	6.1	3.0	9.1	6.1
サービス業	22.4	38.4	1.2	10.2	1.2	24.7	9.8	5.9	11.4	3.1	5.1	2.7	3.1
中小企業	17.5	41.7	1.5	7.4	0.9	20.2	7.2	5.1	8.3	4.3	4.2	2.8	2.9
大企業	24.4	31.1	2.2	2.2	0.0	8.9	4.4	2.2	0.0	0.0	4.4	4.4	0.0

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



### 自社業況DI値の推移



	H17.7~9	H17.10~12	H18.1~3	H18.4~6	H18.7~9	H18.10~12	H19.1~3	H19.4~6	H19.7~9	H19.10~12	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	H22.4~6	H22.7~9	H22.10~12	H23.1~3	H23.4~6	H23.7~9	H23.10~12	H24.1~3	H24.4~6	H24.7~9	
全業種	▲ 17.3	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 17.1	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 16.9	▲ 17.0	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 35.8	▲ 45.2	▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 41.2	▲ 33.1	▲ 33.6	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 39.3	▲ 25.4	▲ 27.1	▲ 15.6	▲ 9.0	▲ 11.8	
建設業	▲ 15.7	0.0	▲ 13.8	▲ 21.3	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 17.0	▲ 23.3	▲ 30.4	▲ 32.3	▲ 44.3	▲ 60.9	▲ 59.2	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.9	▲ 41.1	▲ 38.4	▲ 33.0	▲ 22.8	▲ 38.4	▲ 23.0	▲ 32.0	▲ 24.6	▲ 16.2	▲ 13.1	
製造業	▲ 24.2	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 16.1	▲ 21.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 27.4	▲ 41.5	▲ 42.1	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 25.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 12.3	▲ 16.8	▲ 31.7	▲ 24.8	▲ 13.5	▲ 39.0	▲ 9.7	▲ 13.0	
卸売業	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 18.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 24.4	▲ 30.7	▲ 25.4	▲ 36.4	▲ 48.3	▲ 35.1	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 32.1	▲ 24.4	▲ 30.3	▲ 22.5	▲ 28.2	▲ 45.4	▲ 21.3	▲ 30.8	▲ 15.6	▲ 11.3	▲ 20.8	
小売業	▲ 18.2	▲ 3.2	▲ 7.2	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 30.5	▲ 36.4	▲ 21.0	▲ 43.9	▲ 35.2	▲ 50.7	▲ 44.9	▲ 61.1	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 46.2	▲ 29.9	▲ 24.7	▲ 32.8	▲ 28.2	▲ 19.4	▲ 40.6	▲ 42.4	▲ 32.9	▲ 12.3	▲ 8.8	▲ 16.3
運輸倉庫業	▲ 24.1	3.6	▲ 16.0	▲ 14.3	5.9	16.7	5.7	▲ 3.2	▲ 26.7	▲ 53.3	▲ 61.3	▲ 62.1	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 45.4	▲ 32.1	▲ 13.0	0.0	▲ 27.8	▲ 45.7	3.7	3.6	17.9	▲ 3.0	▲ 9.1	
サービス業	▲ 12.8	3.9	2.6	▲ 10.1	▲ 18.0	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 15.7	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 23.9	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 44.6	▲ 37.7	▲ 37.9	▲ 24.8	▲ 31.9	▲ 38.6	▲ 27.3	▲ 30.3	▲ 7.5	▲ 4.7	▲ 5.9	